

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

平成27年度川崎市総合防災訓練の実施について

- 資料1 平成27年度川崎市総合防災訓練の概要について
- 資料2 訓練会場所在地及び会場レイアウト
- 資料3 訓練概要及びタイムスケジュール

平成27年8月28日

総 務 局

1 実施目的

- (1) 過去の地震の教訓や首都直下地震発生の切迫性を踏まえ、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、企業、市及び防災関係機関等が一体となった実践的な防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図る。
- (2) 九都県市合同防災訓練会場への広域応援（救援物資搬送）を相互に実施して、九都県市相互の連携を図る。
- (3) 職員の災害対応能力の向上を図る。

2 訓練想定

- (1) 川崎市直下地震被害想定 ※川崎市地震被害想定調査より一部抜粋、()内は宮前区内
 - ・人的被害 死者約820(64)人、負傷者約15,820(1,618)人
 - ・建物被害 全壊22,330(1,811)棟(約9%)、半壊49,800(6,256)棟、出火件数約240(38)件
 - ・ライフライン等被害
 - 断水世帯35(5.3)万世帯、下水道機能障害28(0.7)万世帯、
 - 停電40(5.6)万世帯、固定電話の不通13万回線、都市ガス26万～55万件の供給停止、エレベーター停止約7(0.8)千、鉄道全線停止

(2) 訓練シナリオ

「平成27年8月30日(日)午前9時30分頃、川崎市直下を震源とする強い地震が発生、市内の広い範囲で震度6弱以上、宮前区では震度6強を記録、家屋の倒壊、道路や鉄道などの交通網の寸断、電気・水道・ガス・通信等のライフラインの遮断等が発生、市消防局航空隊ヘリによる上空から情報収集の結果、宮前区内において大規模な座屈ビル現場のほか、急傾斜地が大きく崩落している土砂災害現場があることが判明した。

このため、川崎市及び宮前区では、川崎市災害対策本部、宮前区本部をそれぞれ設置し、市民、企業、市及び防災関係機関等が連携し、災害応急対策活動を実施する。政府は本地震の名称を「川崎市直下地震」とした。

発災直後、公的な救助機関が救助要請に応じられない状況下、地元住民及び消防団が中心となって、「自助」と「共助」の精神に基づき、近所の人たちの安否確認を行い、倒壊した家に取り残された人々を自らの力で救出し、初期消火を行うなどの対応を行った。

寸断されたライフラインは復旧活動を開始した。

主要道路には瓦礫や放置車両等により、緊急車両の通行が困難な状況が生じた。

市災害対策本部は、協定に基づき、建設業協会、建設重機協同組合等へ協力要請し、道路上の瓦礫の除去活動を行った。座屈ビル現場では宮前消防署と消防局航空隊が連携した活動方針が立てられた。同ビルの周辺に多くの死傷者が存在することが判明し、市災害対策本部は、県を通じ陸上自衛隊に災害派遣要請を行っ

た。また、土砂災害現場は、神奈川県警察本部第一機動隊の部隊が対応することが決定した。

多数の被災者が見込まれる座屈ビル現場近くに現場救護所が設けられ、付近の医師、看護師、薬剤師、柔道整復師等が駆け付けた。

応急対策が進む中、宮前区本部は、宮前平中学校などを避難所として開設し、避難所運営会議との連携により避難所運営を開始した。

物資集積拠点としての機能を持つ北部市場に、周辺の自治体から救援物資が、各都県トラック協会所属の運送会社のトラックにより搬送されてきた。北部市場に所属する企業スタッフの協力により、物資の荷分けを行い、市内の避難所へ搬送することになった。

遺体は、安置所として指定されている「宮前区スポーツセンター」に収容し、同所に医師、検案医、県警察職員等が参集し、遺体の対応を開始した。

市災害対策本部長である市長は、市民に対してラジオ放送等を通じて、本件震災に係る市長メッセージを放送した。

引き続き、各機関・団体は、それぞれの役割に応じた災害対応を継続している。」

3 実施日時・場所等

(1) 災害応急対策訓練（メイン会場）

平成27年8月30日（日）9：30～12：00

中央卸売市場北部市場（宮前区水沢1-1-1）

＜訓練項目＞ 初期消火、応急救護、ライフライン応急復旧、水防工法、情報収集伝達、道路啓開、緊急交通路確保、救出救助、火災防御、災害時応急医療、救援物資受入・輸送、給食、防災フェア

(2) 住民参加型避難所体験訓練（サブ会場）

平成27年8月30日（日）16：00～17：40

市立宮前平中学校（宮前区宮前平2-7）

＜訓練項目＞ 避難者受付・体育館安全点検、区本部連携訓練、応急救護訓練、車椅子操作訓練、災害用トイレ設置訓練、避難所内居住スペース体験、救援物資受入・配給訓練、ペット同行避難者対応訓練、ボランティア受入れ訓練、炊き出し訓練、

(3) 多数遺体取扱訓練

平成27年9月3日（木）13：00～15：00

川崎市宮前スポーツセンター（宮前区犬蔵1-10-3）

＜訓練項目＞ 遺体安置所の設営、遺体の受付・記録作成、所持金品保管、検視・検案、身元確認、関係書類の作成、遺体洗浄・消毒・遺体縫合、遺体引き渡し等（所持金品等返還）、遺族への対応、報道（広報）

4 訓練の特徴

- (1) 市の物資集積拠点として位置付けられている北部市場における救援物資受入訓練
- (2) 地域で活動する災害ボランティアバイク隊等の参加による情報収集伝達訓練
- (3) 水災害被害軽減を目的とした水圧体験及び水防工法訓練の充実
- (4) 住民参加型避難所体験訓練におけるペット同行避難訓練

5 訓練参加予定機関数・人数

- (1) 災害応急対策訓練（メイン会場）
52機関 約1,100名
- (2) 住民参加型避難所体験訓練(サブ会場)
17機関 約300名
- (3) 多数遺体取扱訓練
6機関 約100名

【参考】

1 九都県市中央会場訓練

- (1) 九都県市幹事都県市（中央会場）
東京都「平成27年度東京都・立川市合同総合防災訓練」
- (2) 実施日時
9月1日（火） 午前9時～正午
- (3) 実施場所
国営昭和記念公園及びその周辺（東京都立川市内）

2 その他の訓練

- (1) 個別訓練
各局・区・室、各企業・事業所等、自主防災組織、市立小中学校、幼稚園等は、9月1日（火）「防災の日」又は「防災週間」（8月30日～9月5日）内の適切な日において実施する。
- (2) かながわシェイクアウトへの参加
9月1日（火）午前11時に県内全域において一斉に実施する。

【シェイクアウト（一斉防災行動訓練）とは】

事前登録した不特定多数の者が一斉にそれぞれの場所で、「①Drop（姿勢を低く）、②Cover（頭を守り）、③Hold on（動かない）」等の安全確保行動を行う訓練

訓練会場所在地及び会場レイアウト

メイン会場

中央卸売市場北部市場

(水沢 1-1-1) 水産棟前駐車場



多数遺体取扱訓練会場

宮前スポーツセンター (犬蔵 1-10-3)



サブ会場

市立宮前平中学校 (宮前平 2-7)



メイン会場レイアウト図(北部市場)



サブ会場レイアウト図(宮前平中学校)



